

本時のねらい

自立活動で制作したプラバンの作業工程をスライドにまとめ、誰もが作ることができるようなわかりやすい説明書を作成する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

本時の内容は 1 つのものを複数人で分担して作成するものであったためロイロノートでお互いの作成したスライドを送り、一つのスライドにまとめた。また To Do リストと例をロイロノートで提示することで、自分で考えて作業できることを目指した。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・iPad ・カメラ ・Keynote（アプリケーション） ・ロイロノート（アプリケーション）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の流れの説明、作成してほしい説明書の例を提示する。 ・プラバンの作り方を知らない人でもわかるように伝えるためにどうしたらよいかを考え、各自ホワイトボードに文章でまとめる。 ・それぞれ書いたものを共有し、本日作成する説明書の文章を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れや例は Keynote で作成して、ロイロノートで生徒に送り、提示した。 ・作成する説明書の文章と To Do リスト、例については、ロイロノートで各生徒に配付する。
展開 (35 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明書のどの部分を担当するか決める。 ・iPad のカメラを用いて、自分の担当する説明書に必要な写真を撮影する。 ・Keynote で説明書のスライドを作成する。 ・作成したスライドをスクリーンショットし、ロイロノートで提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業している様子が見えるように撮影の仕方を教える。 ・ロイロノートを使用することで、素早く 1 つにまとめる作業ができる。
まとめ (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した説明書を共有する。 ・各自でふりかえりを行う。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



作業工程の写真を撮影している様子



生徒が Keynote で作成したスライド



Keynote でスライドを作成している様子

児童生徒の反応や変容

- ・わかりやすい説明のためには、簡潔な言葉や画像が必要なことを学ぶことができた。
- ・各自で集中して作業をすることができた。スライドのアレンジは教員の指示がなくても、自発的に行うことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今回のような説明書を作成しておけば、次回から同じ活動の際にこの説明書を活用しながら行うことができるので、有意義な学習になった。